

会 議 録		令和 5 年 2 月 15 日 作成	令和 8 年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府木津警察署協議会（令和 4 年度第 4 回）		
開催日	令和 5 年 2 月 14 日（火曜日）		
時 間	午後 4 時から午後 5 時 50 分までの間（110 分）		
場 所	京都府木津警察署 講堂		
出席者	奥会長、光橋副会長、小林委員、柴田委員、森本委員、岸田委員 浦本委員、矢島委員、有馬委員、宮本委員 （欠席 岩木委員） <span style="float: right;">計 10 人</span>		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長 交通課長、警備課長、広聴・相談係長 <span style="float: right;">計 10 人</span>		
諮 問 事 項	交通事故抑止のための総合対策について		
会 議 内 容	1 会長挨拶	司会	副署長
	2 署長挨拶		
	3 協議	司会	会長
	諮問事項説明 交通事故抑止のための総合対策について～交通課長 <b>【委員】</b> 交通事故抑止のための総合対策についての説明を聞き、教育委員会で勤務する者として、小学校登下校中の事故が増加していることは、大きな課題であると感じた。我々大人は、交通安全対策として信号や道路のハンプ設置などを優先的に議論しがちだが、車が止まらなければ意味がない。ハード面に偏ることなく交通安全啓発を通じて道路利用者の意識を変えていくことが重要だと強く認識した。 <b>【委員】</b> 昨年、私はサポートカーを購入した。運転操作の習熟に時間を要したが、センターラインを越えたり、車の前後に人がいれば、警告音が鳴ることから事故防止につながっている。これからもっとサポートカーが普及すれば事故が減ると思う。 私の住んでいる地区では、耕運機を運転する方の多くが 65 歳以上の高齢者であり、交通安全啓発を行ってほしい。		

会 議  
内 容

府道上狛城陽線は朝の通勤ラッシュ時に多くの車両が通行する。2年前に通学路の警戒で同時間帯に歩いた際、約30分間に約200台もの車両が通過した。私の孫は山城中学校3年生であり、府道上狛城陽線が通学路になっているが、信号無視をする車が非常に多いと話していた。これら違反車両に対して、交通取締りなどの対策を講じてもらいたい。

【警察】府道上狛城陽線は、亀岡で起きた交通事故現場の道路と道路形状が似ているため、しっかり課題を洗い出し必要な対策を講じていく。

交通取締りは、抑止効果として見せることも大切だと考えている。

サポートカーの普及も目覚ましいが、安全協会と警察でライフサポートプロジェクトも推進している。安全運転の健康寿命を延ばすことを目的とするこのプロジェクトは、車がなければ生活に支障を来すような南山城地域で必要と考えている。南山城村と和東町と一緒にプロジェクトへ参画してもらった。木津川市も参画の意思を示された。精華町は、近鉄電車が走行しており、運転免許証を返納しても移動しやすいが、車がないと移動しにくい地域で手を挙げてもらったので一緒に推進したいと考えている。

安全運転装置が装備されたサポートカーは、運転者が意識しなくても作動する時代になると思われる。私もサポートカーを運転するが、センターラインを越えると勝手にハンドルが戻り、指示器を出さないとハンドルを切れない。今後、高齢ドライバーを対象にした交通安全教室では、どのような状況であれば安全装置が作動するかを理解してもらうことも必要と考える。

【委員】私は自動車の運転を50年し、これまで大きな車を運転してきたが、最近、小さなサポートカーに乗り換えた。車の近くで人を感知すれば警告音が鳴り、信号待ちで先行車が発進すればメッセージで注意喚起してくれるなど非常に運転しやすい。

ライフサポートプロジェクトは、これからもっと普及させてほしい。木津川市でも3月から開催されると聞いたので、このプロジェクトが開始されれば参加したい。

また、今年目標に交通弱者を守ることを掲げられていることはありがたいと思う。山城木津郵便局とダイソーの間に交通量の多い大きな交差点があり、木津中学校の生徒約170名が登下校で通過している。危険な場所であることから、区長などと安全対策に取り組んでいた。木津署の交通課長も安全対策の必要性を認識され、登校時の挨拶運動に多数の署員や白バイを派遣してもらった。また、交通安全協会からも多くの方に参加してもらい、大きく交通安全をアピールすることが

会 議  
内 容

できた。今後も下校の時間帯にパトロールの途中などで立ち寄ってほしい。城山台や相楽交番前の道路も木津第二中学の生徒が自転車通学をしているが、どちらも坂道が急であることから、登下校の安全対策を行ってほしい。

【委員】私が居住する地域では、山城中学校の生徒が自転車通学をしているが、歩道や狭い道路を走行しなければならない。また、城山台では自転車を押して上らなければならない坂道がある。一部歩道が拡張されているところもあるが、自転車走行レーンが途切れているなど道路形状的に自転車通学が危険な地域であることから、自転車レーンの環境整備をお願いしたい。

【警察】山城町の危険箇所を調査して対応する。来年から城山台小学校の児童が木津南中学に通学するようになるが、新しい通学路は、木津川市と連携して必要な危険箇所対策を行っていく。

住民からの声が警察に届かないことは困るが、警察が認知しても優先事項の関係などから、すぐに対策ができるとは限らない。しかし、いずれにせよ危険箇所対策の目的は子どもの安全を守ることであるため、できることから手を付けていきたい。

【委員】交通取締りの件であるが、交通違反で告知された者から腹が立つという話を聞いたことがある。自分に腹が立つのか、警察のやり方に腹が立つのか分からないが、急に取締りを受けたことや、自分だけが取り締まられたという不公平感を持っている者が多いことが原因ではないかと思う。

先ほど、笠置町で飲酒一斉検問をされたと説明を聞き、急に取締りをされると自分は運が悪かったと反省しないことがあるのではないかと思う。

私は、反則告知をされた後、戒めのつもりで青切符を机の前に貼っているが、再び交通違反をしてしまう。それは反則金を支払えば終わりだという感覚になっていることが原因だと思う。例えば、反則金を分割で支払う制度があれば、長い期間、反省心を忘れることはないと思う。

また、道路標示については、標示が消えている箇所がある。住民の方から標示を補修してほしいとの要望を受けており、安全対策のためにも是非対応していただきたい。

【警察】交通違反をした場合、事故が起こらず良かったと考えるか、単に運が悪かったと考えるかは個人の判断になってしまう。交通違反取締りの意義は、違反者に反省の機会を与え、一件でも交通事故をなくすことである。

会 議  
内 容

当署では、交通事故の発生状況等を分析し、検討した上で交通事故防止のために効果的な場所や方法で交通違反取締りを行っているのでご理解いただきたい。反則金の分割納付の件は、警察署単位では判断できないことから、御意見としていただく。

道路標示の件は、公安委員会と道路管理者の管理になるものが混在しており、保守は警察と道路管理者が協議して対応することになる。いずれの管理者に属するものか、すぐに分からないことが多いため、とりあえず警察に連絡いただければよい。

【委員】降雪の時期、国道 163号には、危険な場所がある。木津川市の湾標山トンネルの西側に菜切橋があるが、先般の降雪の際も菜切橋は路面凍結していた。降雪時に赤信号で車両が前方で停止していれば、追突する可能性が高いため、トンネルの西側に「凍結の可能性あり。走行注意願いたい。」との掲示があれば、交通事故防止になると思われる。

また、国道 163号の笠置大橋の北側のカーブやアップダウンのある道路は視認性が低いにもかかわらず、他県のトラックがスピードを出して走行しており、事故を起こす可能性があるため、事故抑止対策をお願いしたい。

【委員】私は精華台で防犯推進委員として活動しており、先ほどのパワーポイントの説明は新鮮であった。隣接県警察署との各種イベント開催、製パン工場に幼稚園児を招いての交通安全イベント、ライフサポートプロジェクトの開催など興味深く説明を聞いた。マスコミに取材依頼を行い、テレビなどで報道してもらうことは広報効果が高いと感じた。

今後、防犯推進委員協議会精華台支部が主催するイベントでも交通課や生活安全課などに協力をお願いしたい。

警察署が精華台でイベントを開催される際は、是非、防犯推進委員協議会精華台支部に協力依頼をしてほしい。

【警察】管内の各種団体等のもとより、関係機関・団体をはじめ隣接の奈良県や三重県の警察署とも、一昨年、昨年と続けて共同で防犯や交通安全の啓発イベントを開催しており、相互に顔の見える良好な関係を構築している。

【委員】毎朝、私は国道24号から近隣の商業施設周辺までを1時間かけてウォーキングしている。城山台地区からJR木津駅までの坂道では非常に多くの自転車がスピードを出して走っている。小さなお子さんを自転車の前後に乗せた方が猛スピードで駅に向かう姿も見掛ける。

その坂道の途中に車の出入りもある交差点があるが、ほとんどの自転車は車が近づいているのにスピードを緩めることなく坂道を下っていくため、いつか大きな事故が起きるのではないかと懸念している。

会 議  
内 容

自転車の通行が多い時間帯に啓発活動を行えば効果があると思う。

今後、城山台小学校の1学年10クラスの児童が自転車通学することになるため、児童の交通安全対策として城山台やJR木津駅の辺りに交番を増設してほしい。

【警察】城山台の自転車問題に係る対策については現在も実施しており、今後も引き続き実施していく。交番増設の件は、確かに木津南交番が受け持つ面積は一つの交番が受け持つ面積としては非常に広大である。木津川市からもJR木津駅前に交番設置要望を受けているが、府警全体を見れば、交番の新設は厳しい現状にある。ただ、駅前に交番がなくても治安が悪化していることはなく、木津署管内の犯罪情勢は落ち着いた現状であるため、安心してほしい。当署管内には繁華街がなく、大阪や奈良のいわゆるベッドタウン的な街となっており、夜間は平穏な管内である。また、休日に住民の方は各所の大規模商業施設に行つて過ごされる方が多く、住民の方に安全安心を感じていただけるようこれらの施設には制服警察官をパトロールさせるなど当署独自の施策も行っている。

今後、城山台など人口増加地域では、少年非行などが増加すると予想されるため、各小中学校と連携して対策を行うよう申し入れも行っており、当署管内の特性に見合った警察活動を推進することで安心感を醸成していきたい。

【委員】和東町は高齢ドライバーが多いが、ライフサポートプロジェクトのような取組をされていることは認識していなかった。

高齢の親御さんが運転することを危ないと危惧されている方もいるが、運転免許証を取り上げてしまうと認知症が進んでしまうこともあり、安全運転の健康寿命を延ばすことが重要であると思う。

交通取締りの件では、取締りを受けた時は安全運転をしなければならぬと反省する。交通事故防止では、制服警察官の姿を見せるだけでも効果があると思う。

【委員】道路標示の件は、自治連合会を通じて要望したらよいか。

【警察】地域的な事情で、自治会から要望されることもあれば個人から要望されることもあるため、どちらでも構わない。例えば、一時停止の道路標示が消えていれば、本来、警察が保守すべきことなので連絡願いたい。

4 退任委員感謝状贈呈式

今年度で退任される委員3名に対して、木津署長から感謝状を贈呈した。

以上

## 第4回京都府木津警察署協議会の開催状況

